

災害被害規模を ドローンで計測

海津市、2社と協定

海津市は、ドローンを活用した災害時の対応や産業振興などで、愛知県一宮市の澤田製作所、恵那市のROBOZと包括連携協定を



災害時の支援や産業振興などの連携について、横川真澄市長と協定を締結した2社の代表者
＝海津市役所

所は海津市を拠点にドローン事業を展開したい考えで、ドローンのスクール運営などをするROBOZと協力し、地域活性化にも取り組む。

協定の締結により、災害時には危険箇所の被害状況の撮影、被害の規模の計測などをドローンで行えるよう3者は体制を構築する。また、今後はドローンの操縦体験やレースなどの催しの開催も視野に入れる。

市役所で行われた締結式で、横川真澄市長と澤田製作所の澤田浩基社長、ROBOZの石田宏樹社長が協定書を交わした。横川市長は「防災力をさらに高め、安全・安心なまちづくりを進めたい」と述べた。

(小田香緒里)